



交通安全市民会議 ニュース



もうすぐ春!

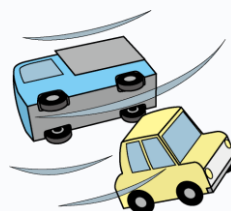
まるで台風「春の嵐」に気を付けて!



日に日に暖かくなり、レジャーなどで人の動きが活発になる季節ですね。一方で、例年3~5月にかけて、日本付近で急速に発達した低気圧によって「春の嵐」と呼ばれる強風が発生しやすくなります。台風並みの暴風により、海岸では高波となることもあるため、注意が必要です。

強風時の運転のしかた

- 運転時に風が強いときは、ハンドルをしっかり握り、速度を落として走行しましょう。
- 急に風にあおられ車体が流されても、急にハンドルを切ったり、急ブレーキをかけるのは大変危険です。落ち着いてハンドル操作をしましょう。
- 十分にスピードを落として走行しても、風に流され危険と判断した場合は、無理せず安全な場所で停止しましょう。



×急ハンドル
×急ブレーキ

風に影響されやすい車体



- 次のような車体の車は風のおおりに受けやすいため、特に注意しましょう。
 - ・「車高が高い」・「重量が軽い」
 - ・「側面の面積が広い」
 例)トラック、SUV、ミニバン

高速道路は特に風の影響を受けやすいよ!
お出かけ前に気象情報をチェックしてね!



自動車の運転以外でも

- 自動車のドアの開閉時に風にあおられ隣の車を傷つけたり、一気に締まるドアに指を挟まないよう十分に注意しましょう。
- 自転車に乗る際も、風のおおりに受けて横転する危険があります。走行が危険な時は、自転車から降り、手で押して歩きましょう。

